



令和2年6月26日

道の駅「南ふらの」が重点「道の駅」に！

みなみふらのちょう
～南富良野町で選定証授与式を行います～

国土交通省では関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取り組みを平成26年度から実施しております。

令和元年度において地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」新規設置、又はリニューアル等の企画提案について全国で30件の応募があった中から、道の駅「南ふらの」が重点「道の駅」として令和2年1月24日に選定されました。

この度、下記のとおり選定証授与式を行いますのでお知らせします。

記

1 日 時

令和2年7月1日（水） 11:00～11:30

2 場 所

南富良野町役場 大会議室（空知郡南富良野町字幾寅867番地）
そらちぐんみなみふらのちょうあざいくとら

3 式次第

- ・挨拶
- ・選定証授与
- ・記念撮影

4 その他

選定証授与式は、報道関係者を対象に公開で行います。取材を希望される方は、6月30日（火）までに、以下メールアドレスかFAXで事前登録をお願いします。

事前登録が無い方は会場の都合により入場を制限させていただく場合がございます。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒、マスク着用等へのご協力をお願いいたします。

【報道関係者の方の事前登録】

E-mail : hkd-as-info@gxb.mlit.go.jp

FAX : 0166-32-1406

登録内容（件名：重点道の駅、社名、役職、氏名（ふりがな）、連絡先（電話とE-mail））

※なお、授与式開始時間の5分前（10:55）までに会場へお越しください。

重点「道の駅」制度など「道の駅」に関する情報についてはこちら

<http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/>

※令和2年6月26日現在、全国道の駅1173駅中、重点「道の駅」は103箇所（うち道内8箇所）

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 課長 おさない まさひろ 長内 正宏 (0166-32-4285)

道路計画課 道路調査官 おおにし こうき 大西 功基 (0166-32-4285)

旭川開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit_hkd_as



道の駅「^{みなみ}南^{そらち}ふらの^{みなみふらのちよう}」(北海道空知郡南富良野町)企画概要 **<既設>**

- 国内有数の体験型観光のフィールドとして、シーニックバイウェイ(日本風景街道)とも連携し、インバウンドを含めた顧客層の多様化に対応した情報発信拠点の整備
- 都市間バスやデマンドバスの交通結節機能を強化し、定住環境維持に寄与
- おむつや液体ミルクの備蓄により、子育て世代も安心の防災拠点整備

インバウンド対応
情報発信



- ・アドベンチャーツーリズムが可能なエリアの積極的情報発信
- ・インバウンドの集客とインバウンド観光効果の拡大
- ・シーニックバイウェイと連携した地域観光情報発信コーナーの設置
- ・外国語対応可能な機能を備え、JNTO登録を目指す。



公共交通拠点化



- ・今後、高齢化に伴い車を運転できない人など、移動手段を必要とする人の増加が想定。
- ・地域交通の再編にも連動した交通拠点としての運用を図り定住環境を維持。

防災機能強化



- ・道路管理者との災害協定の締結
- ・子育て世代でも安心して避難できる環境づくり

子育て応援・交流拠点・休憩機能



- 複合的な交流・休憩機能
- ・来訪者の交流
- ・体験型観光、公共交通の待合スペース
- ・子育て応援に対応可能な休憩、公園機能
- ・防災機能との連携

＜提案の先駆性・ポイント＞

- シーニックバイウェイ(日本風景街道)と連携し、インバウンドを含む顧客層の多様なニーズにも対応可能な情報発信機能
- 複数の交通モードを交通結節強化し、移住・定住環境の構築
- 子育て世代も安心して避難できる環境づくり
- 様々な来訪者の交流拠点としての役割も備えた休憩機能

＜実施内容＞

- アドベンチャーツーリズムのワンストップ窓口、広域・地域情報発信コーナーの設置、外国語対応可能なスタッフの確保
- 地域内交通（デマンドバス）と地域間交通（都市間バス）のハブとして運用
- 防災資機材の配備、おむつや液体ミルクの備蓄
- 観光客、サイクリスト、子育て世代、バス待合スペースなど、多様なニーズに対応できる複合的休憩施設

<参考>令和元年度重点「道の駅」公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

○令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・次世代観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを予定